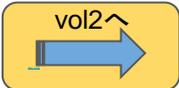




第2日目(7/16) 現地1日目 午前震災遺構伝承館・午後ヤマヨ水産 vol1

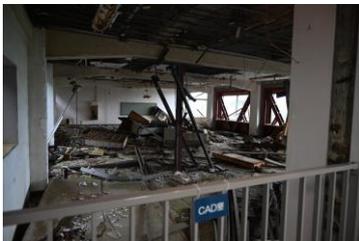


震災遺構伝承館

津波による被害を校舎4階まで受けた旧向洋高校が震災遺構として残されています。校舎に自動車が突っ込んでいたり、当時の様子が残されています。現地の中学生・高校生の語り部に、お話を聞かせて頂きました。

ヤマヨ水産復興支援活動

津波によって養殖いかだや作業場が被害を受けたヤマヨ水産の支援活動を行いました。ここでは、朝の連続テレビ小説の「おかえりモネ」の実家ロケが行われた場所です。2013年には作業小屋の建設支援を行い、毎年続けて訪問しています。今年は普段なかなか手が回らない作業の支援ということで、養殖漁具を海岸沿いから津波等に備えて移動・整理する支援活動をしました。



伝承館3階教室の様子



伝承館1階車が縦向け



ヤマヨ水産養殖筏を臨む



作業場(おかえりモネで撮影)

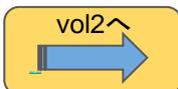


作業場所まで移動



スタックしたトラックを押し出す

生徒たちのふりかえり(vo1)



2年平野

高校跡の伝承館では実際の校舎が丸々展示されていたこともあって震災とその後の津波の被害が甚大だったことを身にしみて感じました。特に記憶に残っているのは4階部分に工場が衝突したということです。津波がこの高さまで上がってきたことにも衝撃的だったけれども、その上物が流れてきたという事実がとても恐ろしいと思いました。昼食を食べた後、牡蠣ヤマヨ水産さんのところでロープを種類別に分ける手伝いをしました。一見災害に関係ないと思えるけれどもいざという時に使えるようにということでした。これを機にいつかのことを今から準備できるようにしたいと思いました。

2年石渡

行きのバスでは行程通りいなくて心配もありましたが、高速道路を降りてからの道は田んぼや海など自然豊かな光景が広がっていて、普通に生活しては見えない光景でした。伝承館では阪神淡路大震災とは違う被災の様子や津波の威力を間近に感じることができました。東日本大震災の時は阪神淡路大震災よりも最近に起こっているのが画像や映像が残っていて、当時の様子をより鮮明に知ることができました。各階で校舎の中の状況は違って、多くのお話を語り部さんから聞くことで臨場感ある体験ができました。牡蠣のお手伝いでは正直歩くのが大変でしたが、少しでもお役に立てればいいなと思い、一生懸命することができました。初めて東北に来て、色々なことを体験することができ、すごく充実した1日になりました。

1年田丸

今日の午前は大雨で想定外な事態がおきてしまいましたが、伝承館やヤマヨ水産、ホストファミリーの人々は嫌な顔ひとつせずに対応してくれて心が暖まりました。伝承館では、東日本大震災の津波により破壊された校舎の中を、当時と変わらない状態で見ることが出来ました。冷凍工場がぶつかった痕や流されてきた車などが生々しく残されていて、津波の恐ろしさを物語っていました。ヤマヨ水産のボランティア活動では、漁業道具の移動の手伝いをしました。服がドロドロになりましたが、その分達成感がありました。ホスト家族の皆さんはとても優しく迎えて下さり、美味しいご飯をいただきました。自家製の野菜やお米を使われていて、大阪では食べられない味を知ることが出来ました。今日感じたものを忘れずに明日も活動していきたいです。

